

パネルディスカッション 東部地域のまちの将来像を語ろう (第3回東部まちづくり戦略会議)



- 発言内容 - 【概要版】

パネルディスカッション

> パネリスト（委員）による発言

委員名	No.	発言内容
小柳委員	1	桃花台だけでなく、篠岡地区全体が一体となり、どのように地域発展させるか、どのように地域に活力を持たせるか、どのように魅力を持たせるかということが極めて重要である。
	2	地域協議会や桃花台まつりなどの活動で、桃花台ニュータウンと既存集落の地域交流は進んでいると感じている。
	3	高齢化は避けられないので、高齢化であっても、社会貢献できるような健康的な地域を作り上げていくことが必要である。
坪井委員	4	東部地域の開発されていない土地を活用し、企業誘致により住民に働く場を提供することが必要である。
	5	ハイウェイオアシスがこの東部地域の発展の起爆剤になることを期待している。
	6	人が集まれば、飲食店やサービス業も増え、生活環境の向上にもつながっていく。

委員	No.	発言内容
尾関委員	7	スマートシティ、スーパーシティのようなまちづくりをすることで企業が新たな産業、技術の導入にも積極的となり、また外部からも新たな企業の参入にもつながっていくと思う。
	8	高齢化に対応するまちとして、高齢者が安心して暮らせる日本版 CCRC が参考になると思う。
	9	農業公園を農業の活性化と観光を促すようなファームをつくり、地域の活性化を図ることがよいと思う。
和田委員	10	成功しているまち、前に進めているまちは、ビジョンをみんなで共有して、官民が連携してまちづくりを進めているまちである。今のまちづくりは、人がキーになっている。
	11	ダイバーシティの考え方に基づき、様々なことを取り込んでいくことが重要で、新しい人が外から来て、その人達と融合することで新しい未来が見えてくるということがあると思う。
	12	小学生、中学生、高校生など、子ども達と一緒に未来を語れるか、一緒に考えていけるか、そして大人たち、この地域の先輩方と一緒にまちづくりを取り組んでいけるかが、東部まちづくりの肝になる。
大塚委員	13	ターニングポイントを迎える高校生、大学生の声をもう少し聞くことも必要だと感じる
	14	東部地域は様々な地域資源があり、これを如何につなぎ合わせて、この東部地域の魅力として育てていくのかということが東部地域の活性化には必要と感じている。
	15	この地域の内部にあるものを活かしながら、内発型の持続可能なまちづくりが一番重要であると考えます。
古池委員	16	地域で手塩に掛けて、自分たちの良いものを探し出して、それをどう磨くかを考えていくことが大事だと思う。
	17	地域の保有してきた農村的価値や資源を再評価し、この場所はかつてどのような場所だったか、そして今後どうしていくべきなのかを考えるべき。
	18	農家の人達を始め、ニュータウンの人達、企業など、この地域でともに暮らし、働く人達が、手を取りあって議論していくことが大事である。
増田委員	19	まちづくりを行うための、方法論としてプラットフォームが重要である。
	20	桃花台では非常に素晴らしい公園、緑地系統などのポテンシャルが、本当の意味で使いこなせておらず、そこを使いこなすことを基軸に展開してみてもいいと思う。
	21	行政からサービスを受ける要求型ではなく、自分がホストになって、住民が住民にどうサービスしていけるか、あるいは自分が新たな暮らしや新たな起業に対して、どうチャレンジできるかという視点が重要である。

委員	No.	発言内容
山下本部長	22	一つの課題は、高齢化が進み、まち全体が衰退していくことであり、それを解決するには、出ていく人達というよりも、新たな人達を迎えることしかないと思う。
	23	受け皿がなければ、新たに人は呼べず、子ども達も戻って来ることができない。限られた土地のなかで、活用されなくなった家や土地を活用できる仕組みをつくり、人を受け入れる体制を構築する必要がある。
	24	若い人達を受け入れる土壌、風土を培い、地域住民がウェルカムという姿勢であることを、外に発信していくことが必要。

▶参加者（住民）による発言

氏名	No.	発言内容
関谷さん	1	<p>●「魅力ある資源を生かし、住民がいきいき暮らせるまち」</p> <p>① 空き家バンクの充実を図り、若年世代が住居を探しやすい環境が整備され、近隣住民の支えあいや、ヘルパー派遣事業者が存在するまち</p> <p>② 既存集落の自然環境、その他施設（予定含む）などを活用、連携させ、楽しく動けるゾーンのあるまち。</p> <p>③ 農業従事者の育成・誘致など農業振興を図るとともに、農業公園やハイウェイオアシスなどと連携し、6次産業化が進むまち</p> <p>④ 資源を活用した活気あるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋造形大学跡地の活用⇒技術・研究拠点とし、近隣大学や地元企業との連携により、次世代成長産業の育成、創業支援、企業誘致を図る。 ・桃花台線旧車両基地跡地の活用⇒複合施設の建設（幼稚園・保育園、児童クラブ、介護施設、ヘルパー派遣、多文化共生など、老若男女が活用でき、それぞれが支えあう拠点として整備） <p>⑤ 無人運転バスの実験フィールド⇒東部地域内の移送サービス（通院・買い物支援）</p> <p>※桃花台で実証実験後、東部地域に拡大。 ※身体障がい者など移動困難者はNPO等に対応する。</p>
余語さん	2	<p>●地域資源をつなぎ、地域資源を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域には多くの地域の財産があることから、これらを有機的に結び、各施設を連携させることが必要。 ・施設や地域にある店をPRするマップづくり、特産品を利用した新たな土産物づくりが必要。 ・地産地消レストランを備えた施設が必要。
谷中さん	3	<p>●少子高齢化を改善するため、以下3点を進めるべきと考える。</p> <p>① 「今ある緑を減らさない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で遊べる緑や公園を子供に対するメリットとして保全する」 <p>② 「多様なイベント企画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存イベントを活用して県外等の地方の方に興味を持っていただく。アピールをする。 <p>③ 「ネットでの発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや自慢できるイベント企画などを若年世代を通して伝える。

>パネリストによるディスカッション（参加者（住民）発言後）

委員	No.	発言内容
和田委員	1	素晴らしいご意見ばかりであった。意見の中にはすぐできることが多いと感じた。民間でも、官民連携でもすぐに行動に移すことが大事である。
	2	今、都市部では二居住拠点を進める人達が増えている。この時期に、東部地域が「都市部の受け皿になるんだ」、「受け皿になって都市部の人達とも共存していくんだ」というビジョンをもって発信することで、人は集まってくるのではないかと思う。
	3	地域住民の皆さんが、このようなことを考えていることは、本当に素晴らしいことである。
増田委員	4	まちづくりは内発力が非常に強い力と同時に、よく言われる「よそ者が入ってくる」、あるいは「若者が入ってくる」、「非常に価値観が自由なバカ者が入ってくる」このよそ者、若者、バカ者をつなぎ合わせていくことによって生まれる力をどう顕在化させていくかが重要である。
	5	内発的な力に加え、どう人を呼び込んで、どうつなぎ合わせていくが重要であり、そんなことができたなら、今あるポテンシャルがあつという間に顕在化すると思う。
小柳委員	6	外の人から魅力を感じてもらうためには、地域内に住んでいる人達が満足していなければ、外から見てもよく見えない。
	7	地元としては、地域外に住んでいる人から、素晴らしいと思われる活動を自信をもって進めていくことが大事。
	8	小学校の草取り奉仕などを地域協議会として実施することとしているが、このような地味な活動であるが、こども達にこのような姿を見せながら、また外の人達にも発信しながら、魅力のあるまちだと思っただけのよう努力していくことが、私たちの役目だと思う。

>まとめ（総括）

委員	No.	発言内容
秦野 FT	1	住民の方のご意見はすばらしいものばかりで、ひとつひとつ、すぐできるものもかなり多いのではないかと思った。
	2	若い世代が住みつづけられるまちとするため、「みんなで知恵を絞りながら協働していく」、「若い人達も含め関わりながら新しいまちを一緒に創っていく」そんなことが必要だと感じた
山下本部長	3	まちづくりを進めるうえで、行政だけでは限界があり、住民主体で、住民がホストとなる取組を進めていかなければいけないと思う。
	4	住民主体で、緑道などの既存ストックを活用して、新たに居住される方、新たに居住したいと思っている方に対してウェルカムイベントみたいなものなどで発信していく取組も必要であると思う。
	5	東部のまちづくりが進められるかどうかは「住民の皆様と明るい未来のビジョンが共有できるかどうか」にかかっていると思う。
	6	我々のまちを10年20年30年後に向けて、良いまちにしていけるかということについて、みんなが自分事に考え、話し合いのなかで共有できたら、自ずとよい方向に向かっていくと思う。